

業曝

The Karma Exposer

イハル
カウラシ

『遠野物語』発刊110周年記念プレイイベント
遠野物語ライブフェスティバル

アングラの星ふたつ、
みちのくの地に奇跡の遭遇。
遠野物語の闇と光に迫る。

振付・演出
出演

工藤丈輝
工藤丈輝、白永歩美(月蝕歌劇団)

とおの物語の館・遠野座

2019年

10/12土

14月祝

19土

20日

●料金 1,800円 (全席自由・税込)

19:00開演

16:00開演

19:00開演

16:00開演

※開場は 開演30分前、上演時間 約1時間

※未就学児童入場不可。
※本公演の観覧には「とおの物語の館」の入館料は必要ありません。
※会場に隣接する「昔話蔵」「柳田國男資料館」は入館料が必要です。
(一般500円・高校生以下200円 午前9時～午後5時・入館受付は午後4時30分まで)

- プレイガイド
- イープラス <http://eplus.jp/> ○SAP <https://www.sap-co.jp/> 03-6912-0945 (平日10時～18時)
 - 道の駅遠野風の丘 0198-62-0888 (8時30分～17時30分)
 - とおの物語の館 0198-62-7887 (9時～17時) ○遠野ショッピングセンターとぴあ 0198-62-2770 (9時～19時30分・10/8休)

ファンタスティックいわて
Fantastic×IWATE

主催：幸せ出ずる国いわて実行委員会 協賛：遠野市

遠野物語ライブフェスティバル **業曝**

暗黒舞踏の斥候隊長、工藤丈輝と、アングラ演劇の美しき毒花、白永歩美とが行方を失った時代精神に物申すべく、「遠野物語」の精神を継いで、忘れ去られた伝承の人物たちが息を吹き返したかのような舞台をくり広げます。

作品概要

「遠野物語」を世に出した当時の青年柳田は舶来ものの自然主義ばやりの時の文壇に物申していたのだ、ということが物語の序文からも見てとれる。「願わくはこれを語りて平地人を戦慄せしめよ。」……これは激しい反抗のマニフェストにほかならず、たんなる民話集の緒言を超えている。民話の懐を借りた時代意識への改革行為であると言えないだろうか。戦後の六、七十年代に起こったアングラ演劇や暗黒舞踏の流れも、時こそ違え同じ志向性をもった動きだったのであり、この結びつきは必然ともとれる。

工藤作品はデビュー時より、幼少のころ隣の宮城で見て衝撃を受けた「オシラサマ」が主題にある。また舞踏の登場人物たちは「河童」や「狐」、「鬼」や「天狗」、「幽霊」などまるで「遠野物語」の都会版の様相を呈している。

やはり序文にある「この書は現在の事実なり」という一文は、妖怪は今もって棲息していることを高らかに告げる。いかに技術ばかりが先走りしたデジタル社会とて、ひと皆の心のなかには古来変わらぬ闇が潜んでいる。街々は明るく、怪異の起こるすべもないような外観であっても、昔ながらの妖怪はビルの谷間や路地の片すみ、下水道の中や、荒廃した家庭、人間の内面にまで居場所を確保し、出現の機会を虎視眈々と狙っているのだ。

工藤丈輝

'67年東京生れ。慶應義塾大学仏文科卒。

在学中より舞台活動を始め、'89年舞踏との出逢いが以後の針路を決定づける。渡米し玉野黄市に師事したのち、和栗由紀夫作品に出演。'92年よりソロ活動を開始する。'95~'98年、山海塾に参加。元藤アキ子主宰のアスベスト館では2003年の封印まで舞踏手のみならず振付まで手がける。近年はソロを軸に世界各所を持続的に公演して回る。'05年、「開眼草」にて舞踊批評家協会賞を授賞。

'14年、主演作「満月」がロシア国家のゴールデンマスク賞先駆的部門作品賞を授与される。近作に「業曝」、「荒漠器」、「工場」、「降海の夢」、「敗北の傘」、「異」、「恐怖の恋」、「飴玉☆爆弾」などがある。

白永歩美

2003年に子役として月蝕歌劇団に入団。以降、アングラ演劇を中心に舞台、映像作品、ラジオ、ナレーション等に出演している。月蝕歌劇団13代目ヒロイン、11代目トップ。2019年より団長に就任。

主演作に「天正少年使節 天草四郎の乱」、寺山修司作「盲人書簡-上海篇-」、夢野久作原作「ドグラ・マグラ」、「聖ミカエラ学園漂流記」などがある。



バリアフリーワークショップ「遠野物語」

障害の有無にかかわらず、どなたでも参加できる
バリアフリー朗読・舞踏ワークショップを開催します。
日程：2019年10月9日(水)~11日(金)

時間：朗読WS 14:00~16:30(受付13:30) / 講師：森田かずよ
舞踏WS 17:00~19:30(受付16:30) / 講師：工藤丈輝

会場：遠野市総合福祉センター (岩手県遠野市松崎町白岩薬研淵1-3)
※参加無料、定員20名、健康者参加可 ※要事前申込(下記SAP HPより参加申込)

遠野物語ライブフェスティバル公演

現代の語り部、声優たちが語る「遠野物語」の世界

『遠野物語』発刊110周年記念イベント

遠野物語ライブフェスティバル 声優たちの遠野物語

演出：平野正人

出演：古谷徹、伊藤かな恵、平野正人

日時：2019年10月26日(土)・27日(日)

1st.stage 16:00開演

(開場15:30/終演17:00予定)

2nd.stage 18:00開演

(開場17:30/終演19:00予定)

場所：とおの物語の館 遠野座

チケット：3,000円(全席自由/税込)

●本公演の観覧には「とおの物語の館」の入館料は必要ありません。

●会場に隣接する「昔話蔵」柳田隆男資料館は入館料が必要です。

(一般500円・高校生以下200円/午前9時~午後5時(入館受付は午後4時30分まで)



とおの物語の館・遠野座 岩手県遠野市中央通り2-11

JR釜石線遠野駅から徒歩8分
釜石自動車道遠野ICから車で10分、駐車場完備(有料)

最新情報はこちらから

<https://www.sap-co.jp/events/fantastic-iwate/>

問い合わせ | 幸せ出づる国いわて実行委員会 (SAP内) 03-6912-0945 (平日10~18時)

